

0・1・2歳児の初めてのお話えほん

ひかりのくに

プエパオ

あそびのえほん テーマ：おなじ

『おなーじ おなじ』

5領域
との
関わり

人 言 表

指導計画事例 ・『同じ』を楽しむ



ねらい

活動内容

環境や援助

からもご活用ください。↓

4-5ページ

ねらい

発見する喜びを共有する

活動内容

・『同じ』に注目
しながら読む

環境や援助

たかしくんも
おなーじ おなじ
ポケットズボンだね。



ポケット！

*読みきかせを進める中で、子どもたちが着ている服や持ち物との共通点があれば、声をかけ合う。

ねずみさんの セーター。

くまさんの セーター。



全体を通して

ねらい

細かな部分に注目し
気付きを楽しむ

活動内容

・『違う』にも注目しながら読む

おなーじ おなじ
しましまセーター。



黄色い
しましま！



青い
しましま！



環境や援助

* ネズミとクマ、2人の身に付けるものは全く同じものではなく、色や模様などが少しずつ違うので、何度か絵本を読んだ後は、細かい部分にも注目してみる。

プチパオ読んで

プチパオで
つなごう
圖と家庭

幸せホルモン プラス

おうちでプチパオを楽しむポイントをご紹介します。
コピーしたり、切ったりしておたよりなどにお使いください！

12月号 ふれあい遊び 「おなじさがし」



12月号はネズミさんとクマさんが『同じ』を見つけていくお話です。いろいろなものを見比べて、『同じ』、『違う』を認識できる時期なので、ふれあいのきっかけにしてみましょう。『同じ』ところが見つかったら、相手との距離感が一気に縮まって共感の気持ちが生まれるので、オキシトシンが増えて幸せな気持ちになるでしょう。

たとえば生活の中で、身に付けているものや、持ち物などで『同じ』を見つけてそこにふれてみましょう。子どもに『同じ』を見つけてもらったり、パパママが『同じ』を見つけてそこにタッチしてみるのはいかがでしょうか。

あるいは、ホクロの位置を見つけて指さしをしたり、洋服や持ち物の『色』や、プリントされている柄や模様などの共通点を探してみましょう。子どもはパパママと同じところが見つかったら、とても嬉しい気持ちになると同時に、子どもと自然に手がふれあって、ふれあい遊びにもなりますよ。

幸せホルモンとは

オキシトシンは『幸福ホルモン』とも呼ばれ、親子のふれあいをするときにも子どもにもたくさん分泌されるホルモンです。その作用は、大切な親子の愛着のきずなを築いたり、ストレスを小さくしたり、睡眠の質を高めるなど様々な効果があります。



山口 創

桜美林大学リベラルアーツ学群教授。専攻は健康心理学、身体心理学。幸せホルモンとふれあいの関係について研究している。「幸せになる脳はだっこで育つ」（廣済堂）など著書多数。「朝イチ」

「世界一受けたい授業」などへの出演、各種雑誌媒体の監修も行っている。